



今週の植物情報

	植物名	科名	状況	場所	一口メモ
花畑	シャーレーポピー	ケシ	見頃始め	花の丘	ヒナゲシから品種改良されてきた園芸品種です。葉っぱが付いた花茎から枝分かれして複数のつぼみをつけます。
	ブーケガーデン	-	見頃始め	みんなの原っぱ西花畑	ネモフィラやヤグルマギク、ポピーなど18品種が植わっています。どこを切り取ってもブーケのように見えるので「ブーケガーデン」です。
	ネモフィラ	ムラサキ	見頃	ハーブの丘	地面を覆うように水色の花を咲かせます。
	ナノハナ	アブラナ	見頃過ぎ	みんなの原っぱ南花畑	菜種油の原料や、胡麻和え、おひたしなど食用にもなります。
草花	スイレン	スイレン	開花始め	花木園菖蒲田	ハスと花姿が似ていますが、ハスは葉が水面から立ち上がるのに対し、スイレンは葉が水面に浮かぶ特徴があります。
	ドイツスズラン	キジカクシ	開花中	ふれあい橋南西花壇、野草のこみち	ヨーロッパに広く分布しているスズランで、葉の下にひっそりと花を咲かせる二ホンズズランとは違い、葉の上に花を咲かせます。
	アヤメ	アヤメ	開花中	こもれびの里	葉の並びたちに美しいあやがあると考えられたことから名前が付けました。
	シラン	ラン	見頃	花木園ロックガーデン、こもれびの里	紫色系統のランであることから名前が付けました。現在自生のものが少なく、絶滅危惧種に指定されています。
	イチハツ	アヤメ	見頃終盤	日本庭園	アヤメ類の植物で、一番最初に咲くことが名前の由来になっています。原産地は中国やミャンマーです。
樹木	キンジュ	モクレン	開花中	花木園ボタン園	別名は黄木蓮で、黄色の花を上向きに咲かずモクレンの仲間です。
	セイヨウシャクナゲ	ツツジ	開花中	日本庭園	欧米から移入されたシャクナゲで、日本原産より花が大きく、華やかです。
	ヤマボウシ	ミズキ	開花中	ふれあい橋、No.16交差点周辺、園内各所	白い花に見えるものは花びらではなく、蕾の時に花を保護していた総苞(そうほう)と呼ばれるものです。
	ギョリュウ	ギョリュウ	見頃始め	花木園	春と秋に一回ずつ咲き、秋の花は結実します。
	トチノキ	トチノキ	見頃	こどもの森月の丘周辺、うんどう広場北側	樹齢100年のトチノキは1日に一斗缶1本分の蜜を出すといわれています。
	ベニバナトチノキ	トチノキ	見頃	ハーブ園	赤い花のトチノキで、基本的な特徴はトチノキと同じです。
	モッコウバラ	バラ	見頃終盤	ハーブ園	生育が早く、多くの花をつけます。アーチやフェンスなどに用いられることが多く、園内でもハーブ園の入口のアーチに使用されています。
	ハクウンボク	エゴノキ	見頃終盤	わんぱくゆうぐ	白い花を列になって咲かせ、白い雲のような見た目から名前が付けられました。
	ヒトツバタゴ	モクセイ	見頃終盤	わんぱくゆうぐ	一葉タゴと書き、羽状複葉のトネリコ(別名タゴ)の単葉種であることから名前が付けました。
	フジ	マメ	見頃終盤	立川口カナル、日本庭園	「藤色」という、淡い青みがかった紫色の花を垂れ下げて咲きます。
	オオデマリ	スイカズラ	見頃終盤	花木園園路沿い	コデマリとは似た大きな花を咲かせますが、オオデマリはスイカズラ科に対し、コデマリはユキヤナギと同じバラ科になります。
	ツツジ類	ツツジ	見頃終盤	日本庭園、地底の泉、園内各所	園内各所で多品種のツツジをご覧いただけます。
こもれびの丘	キンラン	ラン	開花中	こもれびの丘南斜面、日本庭園	雑木林の中で金色に輝く様子から名付けられました。
	ギンラン	ラン	開花中	こもれびの丘南斜面、地底の泉生垣	白色の花をつけるランです。花は全開せず、半開きのまま終わることが多いです。
	フタリシズカ	センリョウ	見頃	こもれびの丘南斜面	葉の上に3~5cmの花穂を1~5本ほど咲かせます。
	ホタルカズラ	ムラサキ	見頃	こもれびの丘南斜面	山の斜面や茂みで鮮やかな青い花を咲かせます。
エビネ、ウラシマソウ、コバノタツナミ、オドリコソウ、ウツギ等の春の山野草が開花中です。					
盆栽	かまつか	バラ	見頃	盆栽苑	粘り強い材が特徴で、槌の柄などに用いられます。